保育所だより

令和３年６月号
中部保育所
TEL63-3221　090-5693-1233

今年は例年よりも早い梅雨入りとなりましたね。
これから雨の日が多くなりますが、晴れ間をぬって戸外で思いきり遊んだり、室内でも遊びを工夫したりしながら楽しんでいきたいと考えています。そして、梅雨時期ならではの自然に興味や関心が持てるよう、雨の音を聞いたり散策を楽しんだり、虹などの空の様子を見たりします。また、身近に生息しているかたつむりやカエルを探したり、近くの川へ行き、オタマジャクシやドジョウなどを捕まえ飼育し、生態を間近で見たり触れたり、世話をしたりすることで、生命の不思議さや命の尊さについて考える機会を持ちたいと思います。
この時期は、気温・湿度ともに高くなり、暑さに体がまだ慣れていないことから熱中症になりやすく、体調を崩してしまいがちです。十分な睡眠をとり、朝ごはんをしっかり食べて元気に過ごしましょう。また、感染症等が流行する時期になりますので、今後も引き続き、手洗い・うがいを行って感染予防に努めます。

6月の行事予定

１日(火)　あいさつ運動
〃　　５歳児交流保育(北部保育所来所)：さくら小体育祭見学
２日(水)　笹の仕分け（きりん組参加）
３日(木)　節句会（※きりん・ぱんだ・うさぎ組は
　　エプロンと三角巾を持って来てください。）
〃　　尿検査提出
７日(月)～１１日(金)　身体測定週
７日(月)～１４日(月)　家庭訪問
８日(火)　保育所開放日
１５日(火)　弁当の日　◆５歳児交流保育（於：平田保育所）
〃　　内科健診①（りす・ことり・ひよこ組）１３：３０～
１８日(金)　誕生会　保護者会役員会②　１８：３０～
２１日(月)　集金日
２２日(火)　避難訓練
２３日(水)　内科健診②（きりん・ぱんだ・うさぎ組）１３：３０～
〃　　離乳食実習会①　尿検査予備日
２４日(木)　歯科健診
２５日(金)　布団持ち帰り

ことり組

ひよこ組

7月の主な予定

１日(木)　◆プール開き
◆のついている行事につきましては、後日お知らせします。

＜お知らせ・おねがい＞

◆健診について（内科健診：１５日･２３日）（歯科健診：２４日）
お子さんが元気で過ごせるように健診を受けます。保護者の方の付き添いはいりません。結果は後日お知らせします。

◆５歳児交流保育について（１５日）
平田保育会５施設の５歳児が集まり、運動遊びをしたり、一緒にお弁当を食べたりして、他施設の友だちとの交流を深めます。
また、北部保育所年長児さんとは、月１回程度交流を行います。

◆離乳食実習会について（２３日）
保育所開放日の取り組みとして、今年度は３回計画しています。ご家庭におられるお子さんの保護者の方のほか、保育所の保護者の方にもぜひ参加していただきたいと思っています。ご希望の方はお知らせください。

◆お昼寝用バスタオルの持ち出しについて
気温に応じてお昼寝にバスタオルも使用します。用意ができましたら持って来てください。（記名を大きく）
週末に持ち帰りますので、洗濯をして月曜日にお持ち出しください。掛け布団ももうしばらく使用します。

職員出張のお知らせ　△午後からの研修
１４日△IS YOU 幼稚園･保育所指導者見学会～岩成
２９日～７月１日　保育士キャリアアップ研修【幼児教育】～梶谷

保育目標～〇感触あそびを楽しもう。

水たまりや泥山の水、砂、泥に触れて全身を使って思う存分遊びたいと思います。また、小麦粉・片栗粉・石鹸・絵の具などの身近な素材に実際に自分の手や肌で触れる体験をし、様々な感触を味わうことができるようにしていきます。

〇梅雨ならではのあそびを楽しもう。

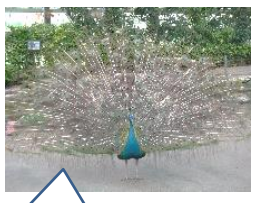
梅雨期の自然に触れる体験を通して、自然の変化などを感じ、好奇心や探究心を育むようにします。また、生き物の生態を間近で見たり触れたりしながら、子どもたちの発見・驚き・感動を大切にし、命の尊さについても気づけるようにしたいと考えています。

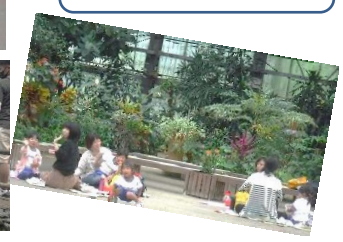
生活目標～歯磨きを丁寧にしよう。

子どもたちの年齢に応じて、看護師が歯磨き指導を行います。大きいクラスでは、歯の模型や染め出し液を使って磨き方の指導をします。小さいクラスでは、歯磨きに関心が持てるように働きかけたり、仕上げ磨きを丁寧にしたりしていきます。使っている歯ブラシの毛が広がっているときれいにみがけませんので、こまめな点検をお願いします。

～親子遠足のようす～

５月２２日（土）に、８台のバスに乗って松江フォーゲルパークに親子遠足に出かけました。
鳥や鯉を見たり、おいしいお弁当を食べたりし、親子で楽しいひと時を過ごしていただきました。


孔雀が羽を広げてくれました！



【参加された保護者の方からいただいた感想を紹介します】
- バスに乗るのも楽しみで、フォーゲルパークでも友だちと一緒に鳥やフクロウショーを見たり、鯉に餌をあげたり保育所最後の親子遠足を楽しめて良かったです。
- 子どもに「何が楽しかった？」と聞くと、「全部！」と言っていました。みんなで行けたことが嬉しかったようです。
- 初めてのバスにフォーゲルパーク、楽しすぎたようで帰ってから話が止まりませんでした。
- 親子でたくさん触れ合えて良かった。友だちのお父さんやお母さんとも話ができて良かった。

✿子育てのヒント

『みんなほんもの』
トマトがねぇ
トマトのままでいれば
ほんものなんだよ
トマトをメロンに
みせようとするから
にせものに
なるんだよ
みんなそれぞれに
ほんものなのに
骨を折って
にせものに
なりたがる
みつを

私たち大人だって、自分に自信がないとき、あるいは自分が子どもだったころに自分の親や教師から、それでいいよと認められ愛されてきた経験がなければ、こういうきわめて当たり前なことばの、本当の意味に気づかないものである。そして、いつもいつもそれではダメ、こうでなければダメと言われ、トマトじゃダメだ、メロンになれと言われ続けてきたのでは、子どもたちに「そのままでいい」と言ってやることはできないのかもしれない。
でも努力して、トマトのままでいいよ、トマトのままがいいよと、心から言ってやれる大人になりたいと思う。そうすれば子どもたちは、それぞれがほんもののまま輝くから。（一部抜粋）

参考文献～育てたように子は育つ（小学館文庫）
書者：相田みつを：　著者：佐々木正美

上記は、相田みつを氏のことばを、児童精神科医である佐々木正美氏が、子育てという観点と関連づけて説明していらっしゃいます。
“ありのままを受けとめる”ことの大切さを改めて感じました。